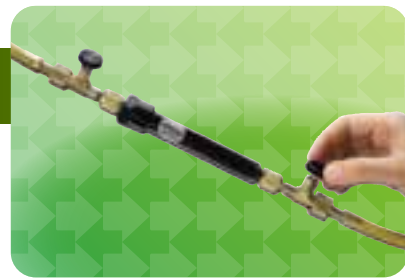


3. 注入工具を選ぶ

最後に、機器の低圧ポートの口金に応じて注入工具セットを選んでください。カプセル蛍光剤は下記の図のように接続し、ガスチャージ時にガス圧で押し込みます。



注入工具 Aセット <1/4フレア:R-22・404A・407Cなど用>

品番	品名	必要数
BV-50	コントロールバルブ 1/4フレア	2個
TP-9941	接続ホース 1/4フレア	1本

※注入の安全性を高めるために、チャージバルブ:BV-90(1/4フレア)もご用意しています。

コントロールバルブ
BV-50
※2個必要

接続ホース
TP-9941(1/4フレア)



接続ホース
BV-9941(5/16フレア)



異型アダプター(410用)
BV-159P-1
※2個必要



注入工具 Bセット <5/16フレア:R-410A用>

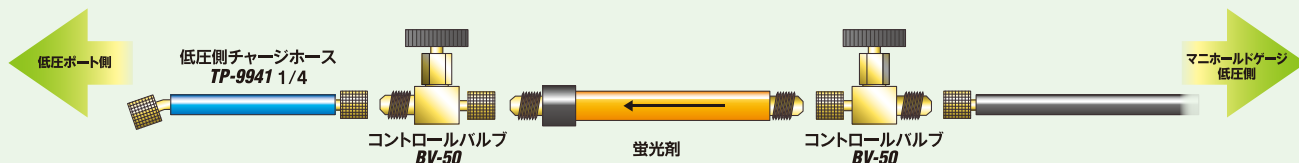
品番	品名	必要数
BV-50	コントロールバルブ 1/4フレア	2個
BV-9941	接続ホース 5/16フレア	1本
BV-159P-1	異型アダプター 5/16フレアオス×1/4フレアメス	2個

※注入の安全性を高めるために、チャージバルブ:BV-85(5/16フレア)もご用意しています。

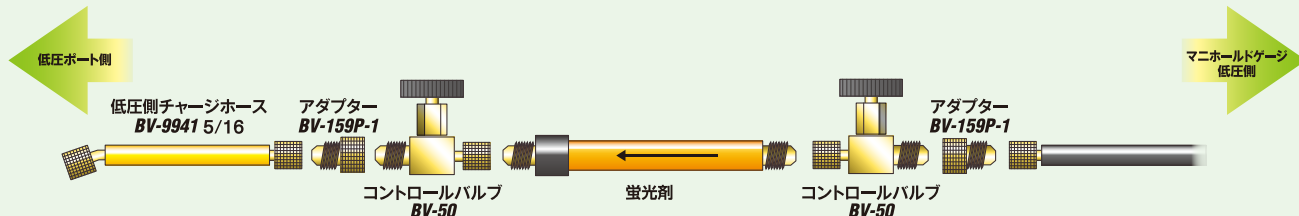
参考 接続方法図 冷媒の充填と一緒に蛍光剤を注入します。

※その他R-134aの場合や不明の場合など、お気軽にご相談ください。また、注入の方法についての資料をご用意しておりますのでご用命ください。

注入工具 Aセット R-22など ミネラルオイル用蛍光剤注入の場合



注入工具 Bセット R-410A エステル(エーテル)オイル用蛍光剤注入の場合



資料

Document

カプセル蛍光剤ご使用手順

1 カプセル蛍光剤を注入する

通常的气体チャージの手順で、蛍光剤をガス圧で押し込みます。別紙にて、詳細な注入方法についての資料をご用意しています。



2 機器を稼働させ蛍光剤を十分に循環させる

スローリークの場合は数日~数週間、じっくり蛍光剤を循環させてください。蛍光剤はコンプレッサーオイルになじんで循環します。オイルがにじむまでの時間が必要だということをご理解ください。

3 紫外線ランプキットで検査する

後は、疑わしい場所を紫外線ランプで照射し、検査するだけです。蛍光剤が紫外線に反応すると、漏れ箇所は黄色~黄緑色の発光をします。



蛍光剤のPOINT

- ・ 蛍光剤でのリーク検知は、ガスの漏れを見るものではなく、オイルのにじみを見るということをご理解ください。
- ・ 十分に蛍光剤を循環させますと、どんな小さい漏れも発見可能です。
- ・ センサー式検知器より精度が高く、風に左右されることはありません。
- ・ 窒素耐圧より手間と時間がかかりません。
- ・ 最大のデメリットは、即時性がないこと。そのため疑わしい機器や多回ガスチャージの機器へは初期(設置)段階で蛍光剤を充填してください。

まずは、こんなところで使ってください・・・

- ・ まずは、多回サービスでお困りの案件に!
- ・ 病院、コンビニ、電算室、大型冷凍庫など、機械を止められない、修理できない案件に!
- ・ 窒素耐圧検査する前に!
- ・ 1度目のガスチャージの時、ついでに蛍光剤を1本注入していただくことをオススメします!